WN06580(R)

施工説明書

2006.7

TOTO

洗面化粧台施工説明書

LDD700・701
LDSD700・701

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

☆安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、製品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表　示	意　味	表　示	意　味
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明してます。

⃠	⃠は、してはいけない「禁止」の内容です。	❗	❗は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

- **本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。**
  紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

⚠警告

壁固定ねじ取付位置に木さんを入れて補強する	電気配線工事・給排水工事は、関連する法令に従って、必ず「有資格者・業者」が行う	電源は交流100Vを使用する	浴室など湿気の多い場所へ設置しない	電気コードを傷つけない	アース工事を行う（D種接地工事）
キャビネットが転倒しケガをするおそれがあります。	火災や感電および水漏れの原因になります。	交流100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。	漏電により感電するおそれがあります。	電気コードを傷つけると火災のおそれがあります。特に壁固定の際は気をつけてください。	漏電により感電するおそれがあります。（電気温水器付きのみ）

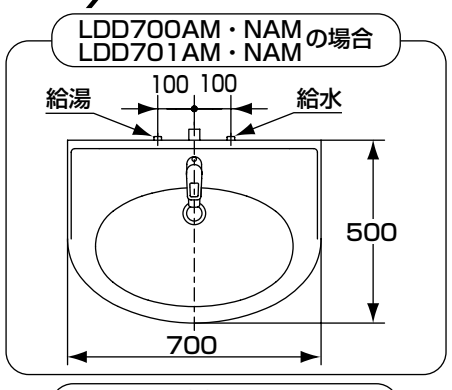
⚠注意

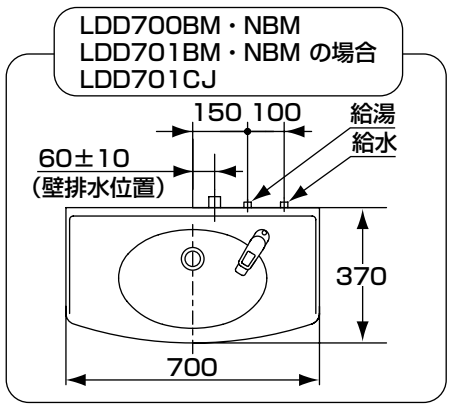
湯・水を逆に配管しない	凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う	カウンター・洗面器の上に乗らない	工事完了後、給排水管から水漏れがないことを必ず確認する	工事完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・ガタツキ丁番のゆるみがないかを必ず確認する
水側でいきなり湯が出て、やけどをする原因になります。	凍結破損で水漏れし家財などに損害を与えるおそれがあります。	故障および転落・転倒してケガの原因になります。	水漏れを起こすと、家財などに損害を与えるおそれがあります。	使用中にキャビネット・扉が落下してケガをする原因になります。

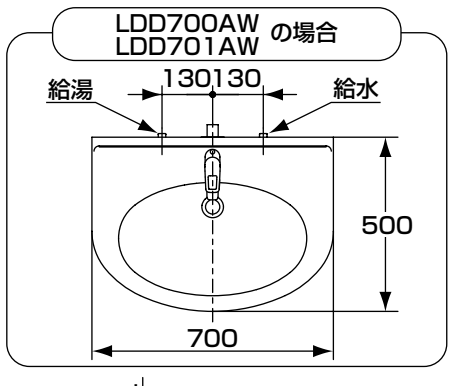
☆工事寸法

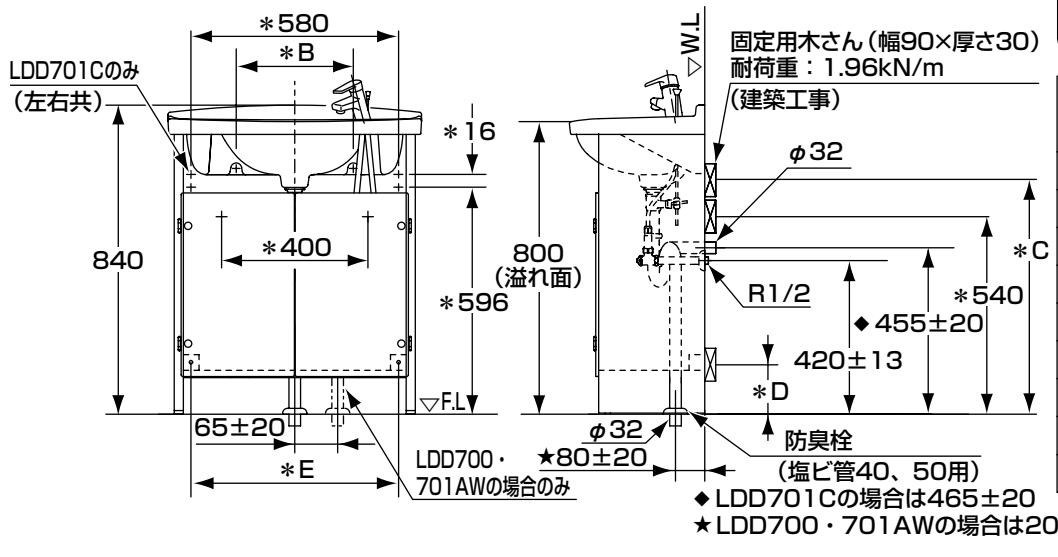
シングルレバー混合栓 ホース付シングルレバー混合栓の場合

- 特殊品の場合の工事寸法は、承認図を確認してください。
- 図はLDD700BMタイプです。その他の機種は外観が若干異なります。
- ＊印は木ねじ位置を示します。





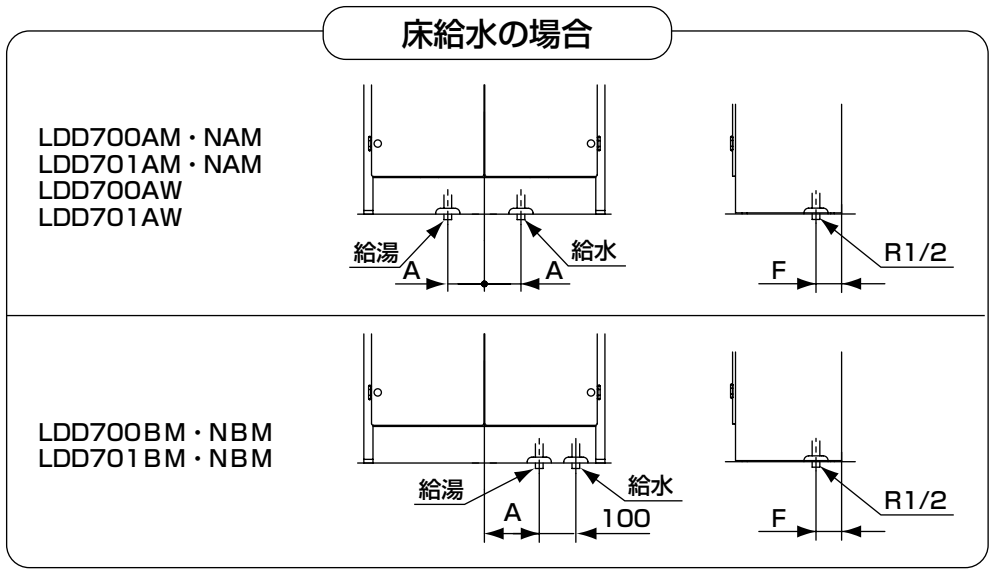




※止水栓は付属していませんので必要な場合は、下記品番の別売品をご購入ください。

製品品番	止水栓	
	壁給水用	床給水用
LDD700AM・NAM LDD701AM・NAM LDD700AW LDD701AW	LTL594CAU×2個	LT4BD8U×2個
LDD700BM・NBM LDD701BM・NBM LDD701CJ	LTL594CA1U×2個	

床給水の場合



製品品番	給水(湯)位置	壁固定位置				給水(湯)位置
	A	B	C	D	E	F
LDD700AM	100	304	634	135	573	80
LDD700NAM				–	573	
LDD701AM・NAM				–	–	
LDD700AW	130			135	573	150
LDD701AW				–	573	
LDD700BM	150	314	672	135	573	145
LDD700NBM				–	573	
LDD701BM・NBM				–	–	
LDD701CJ		–	–	–	–	80

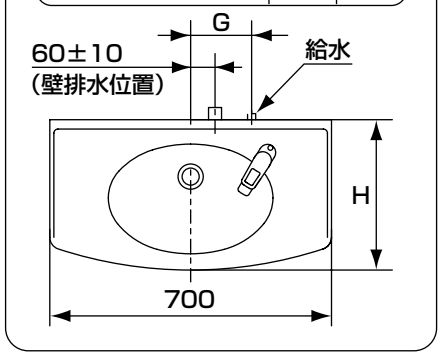
単水栓・自動水栓・電気温水器付き（シングルレバー混合栓）の場合

- 特殊品の場合の工事寸法は、承認図を確認してください。
- 図はLDD700BDGタイプです。その他の機種は外観が若干異なります。
- ＊印は木ねじ位置を示します。
- 電気温水器付きの場合壁排水はできません。（自動水栓電気温水器タイプを除く）

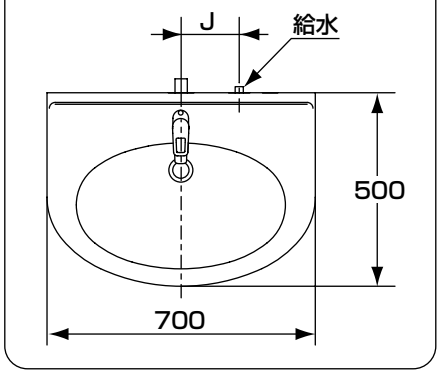
※自動水栓（電温なし）以外は止水栓を付属していませんので必要な場合は、下記品番の別売品をご購入ください。

製品品番	止水栓	
	壁給水用	床給水用
LDSD700AMHS・BMHS LDSD700AYH・BYH	LTL594CAU×1個	ー
LDD700BDG・NBDG LDD701BDG・NBDG	LTL594CAU×1個 LTN65LX35×1個	LTL594CBU×1個 LTN65LX35×1個

	G	H
LDSD700BMH LDD700BYH LDD700BDG・NBDG LDD701BDG・NBDG	150	370
LDD700BY・NBY LDD701BY・NBY	140	
LDD701CY		430

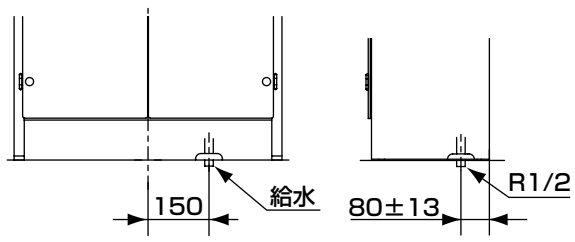


	J
LDSD700AMH・AYH	150
LDD700AY・NAY LDD701AY・NAY	140



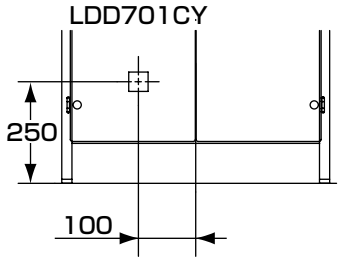
床給水の場合

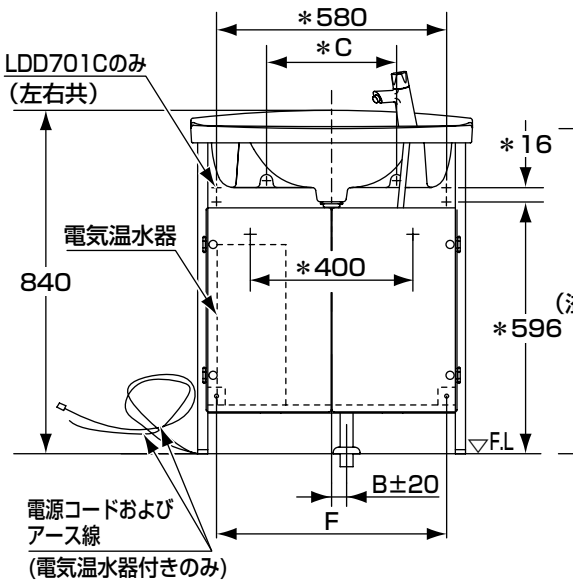
LDD700BDG・NBDG
LDD701BDG・NBDG

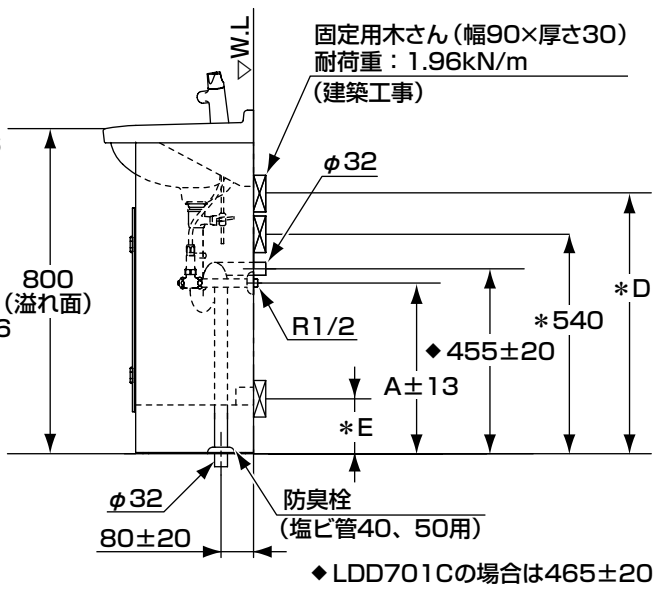


自動水栓コンセント取出し位置

LDD700AY・NAY
LDD701AY・NAY
LDD700BY・NBY
LDD701BY・NBY
LDD701CY







製品品番	給排水位置		壁固定位置			
	A	B	C	D	E	F
LDD700AY	290	0	304	634	135	573
LDD700NAY					–	573
LDD701AY・NAY					–	–
LDSD700AMHS	420	40			135	573
LDSD700AYH		0			135	573
LDD700BDG			314	672	135	573
LDD700NBDG					–	573
LDD701BDG・NBDG					–	–
LDD700BY	290				135	573
LDD700NBY					–	573
LDD701BY・NBY					–	–
LDSD700BMHS	420	40			135	573
LDSD700BYH		0			135	573
LDD701C	290		–	–	–	–

☆部品明細

※機種によって多少形状が異なります。

[共通部品]

洗面器	水栓金具（保証書同梱）	排水金具
1個	1セット	1セット

防臭栓	排水ふた（扉付タイプのみ）	給水ふた（扉付タイプのみ）
● 1個	● 1個	● 2個

壁固定金具		パッキン	木ねじ（扉付タイプのみ）
2個	2個	■ 2本	● 7本
	（カウンタータイプのみ）	（洗面器固定用）	φ3×12 （給水・排水ふた固定用）

木ねじ	取扱説明書（保証書付き）	丁番固定ねじ
ウッドパネルタイプ：6本 パイプフレームタイプ：4本 カウンタータイプ：2本 φ4.5×50 （壁・床固定用）	1冊	

水受けトレイ，ホースガイド	電気温水器（電気温水器付きのみ）
※ホース付きシングル水栓のみ 1個 水受けトレイ	1セット

■カウンタータイプには同梱されません。
●印のある部品は機種により必要数が同梱されています。

ウッドパネルタイプ

側板（左右）	前さん	後さん	底板（扉付きタイプのみ）
2枚	1本	1本	1枚

棚　板	扉（扉付きタイプのみ）	連結ねじ	アングル
LDD700AM・AW・AY NAM・NAY 2枚 その他は1枚	2枚	オープンタイプ：4本 扉付きタイプ：8本	2個

木ねじ（扉付きタイプのみ）	木ねじ	座金（オープンタイプのみ）	化粧キャップ（オープンタイプのみ）
12本 φ3×14 （丁番固定用）	オープンタイプ：皿木ねじ2本 φ4.5×25 扉付きタイプ：なべ木ねじ2本 φ4.5×16 （アングル固定用）	2個	4個

パイプフレームタイプ

フレーム（左右）	連結パイプ	扉（扉付きタイプのみ）	底板（扉付きタイプのみ）	扉用クッション（扉付きタイプのみ）
2個	オープンタイプ：2本 扉付きタイプ：4本	2枚	1枚	4個

小ねじ（扉付きタイプのみ）	連結金具	小ねじ	小ねじ	隠し板
12本 M4×10 （丁番固定用）	オープンタイプ：4個 扉付きタイプ：8個	オープンタイプ：8本 扉付きタイプ：16本 M4×10 （連結パイプ固定用）	オープンタイプ：4本 扉付きタイプ：8本 M4×10 （連結金具固定用）	※カウンタータイプのみ 2枚

六角ねじ	パッキン	洗面カウンター	化粧ねじ	ばね座金
4本 φ4×25 （床固定用）	※カウンタータイプのみ 1枚 （水栓固定用）	※カウンタータイプ シングル水栓のみ 1個	※カウンタータイプのみ 4個	※カウンタータイプのみ 4個

☆設置上の注意

- 湿気の多い場所では、パイプの腐食や木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。
  特に浴室内には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。

☆あらかじめ必要な電気工事（必ず電気工事店にて工事してください。）

〈電気温水器または、自動水栓が付く場合は、電気工事を行ってください。〉

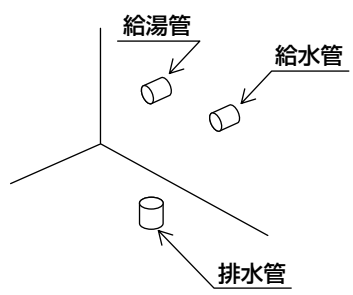
- 電源は、交流100V（50/60Hz）、温水器消費電力600Wまたは、自動水栓消費電力5Wに適した配線をしてください。
- 電気温水器が付く場合は、漏電による感電防止のため、アース工事を行ってください。（D種接地工事）

☆使用条件（単水栓は除く）

- 水栓金具の使用条件は水栓金具に同梱の施工説明書をご参照ください。
- 電気温水器の使用条件は、電気温水器に同梱の施工説明書をご参照ください。

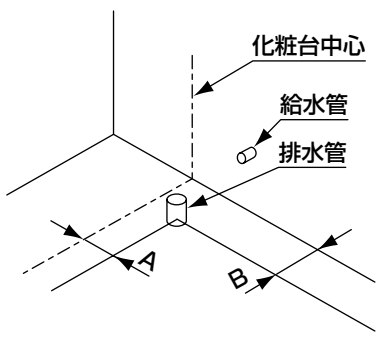
☆取付前の準備

- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。
  （壁面に固定用木さんが取り付けられない場合は、前面に厚み12㎜以上のクロス張りした板を強固に取り付けてください。）
- 給水・給湯管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 化粧台の取付壁面は露出する部分がありますので、クロス貼りなどの壁仕上げをしておいてください。
- 扉付タイプの化粧台で床給水・床排水仕様の場合は所定の位置に給水・給湯穴（φ52）、排水穴（φ90）を穴あけしてください。
- 排水管を所定の位置に取り出してください。
  VP40、VU40は、仕上げ面より25mm立上げてください。
  VP50、VU50は、仕上げ面より15mm立上げてください。
  電気温水器付きの場合は、排水管サイズにかかわらず仕上げ面より75mm立上げてください。

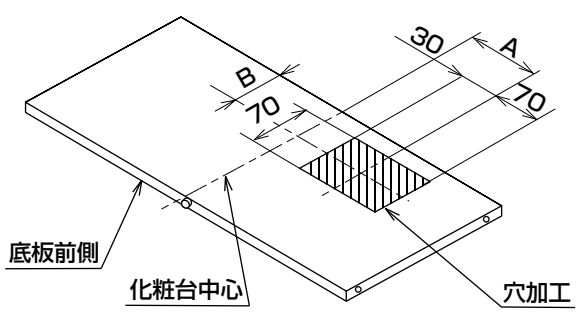


- ウッドパネルタイプ電気温水器付き（シングルレバー混合栓のみ）の場合は、排水管位置を測定して下記の底板と側板を加工してください。

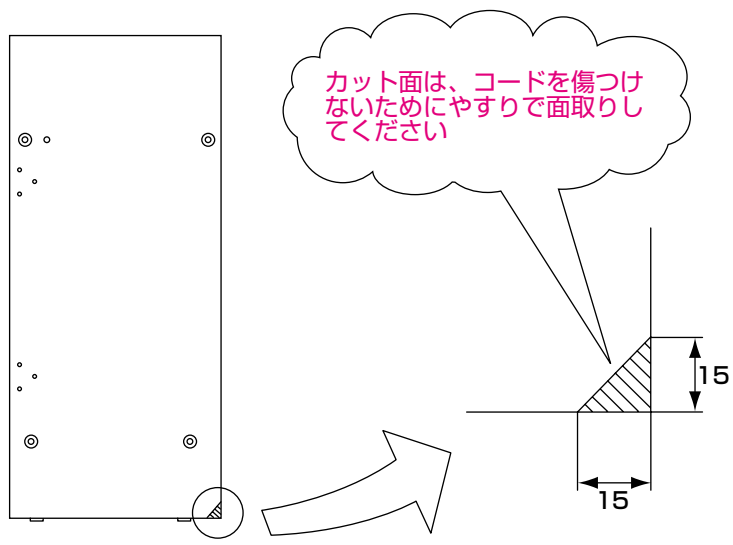
⑴排水管位置を測定してください。



⑵底板に穴加工してください。



⑶電源コードおよびアース線をキャビネット外へ取り出す場合は電源コードおよびアース線を取り出す側の側板の後下部をカットしてください。
※図は左側板を示します。

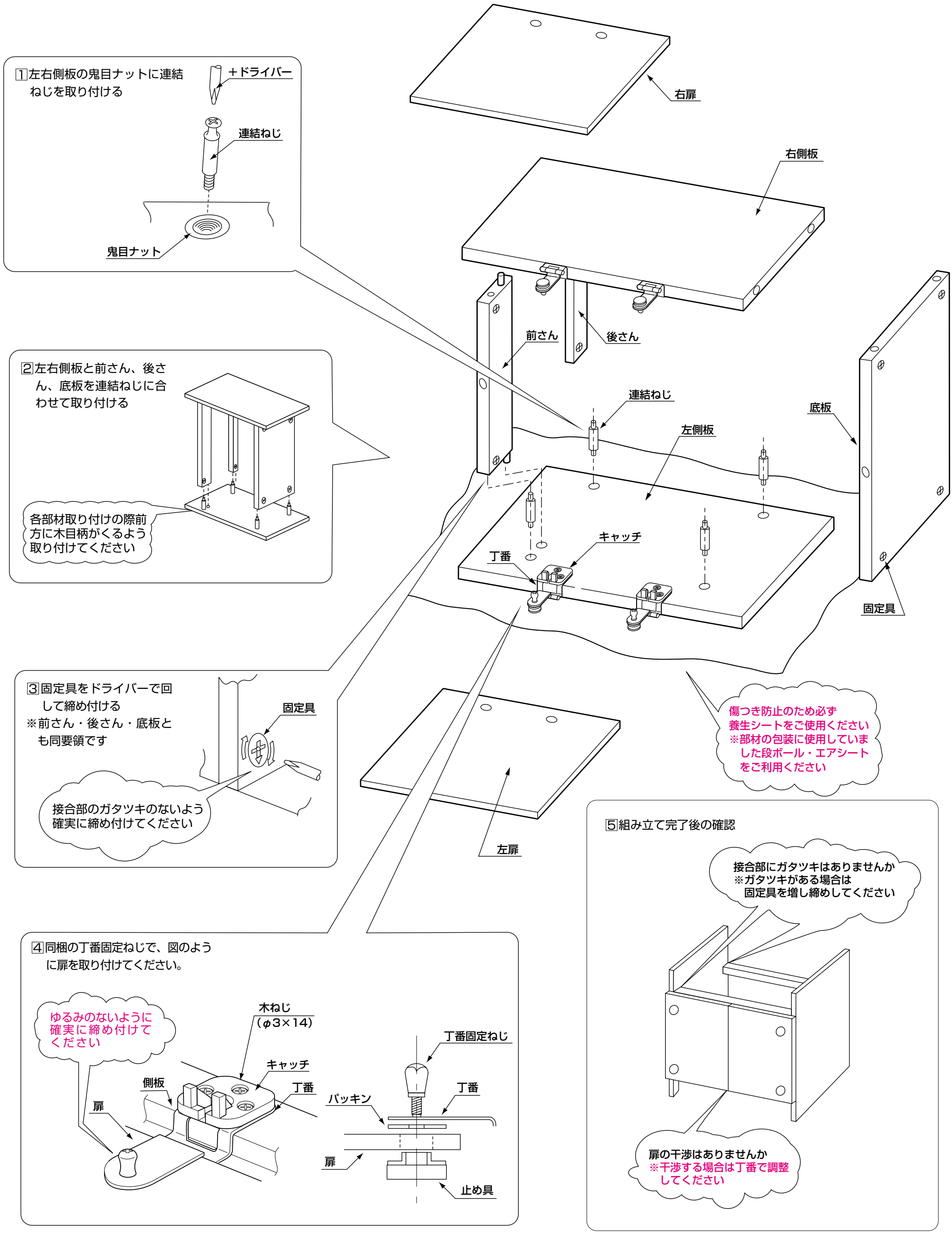


☆取付手順（番号順に取り付けてください）

タイル・コンクリートの壁・床の場合は、現場に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。
（プラグ用下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。）

①キャビネット部の組み立て（ウッドパネルタイプ　扉付き）

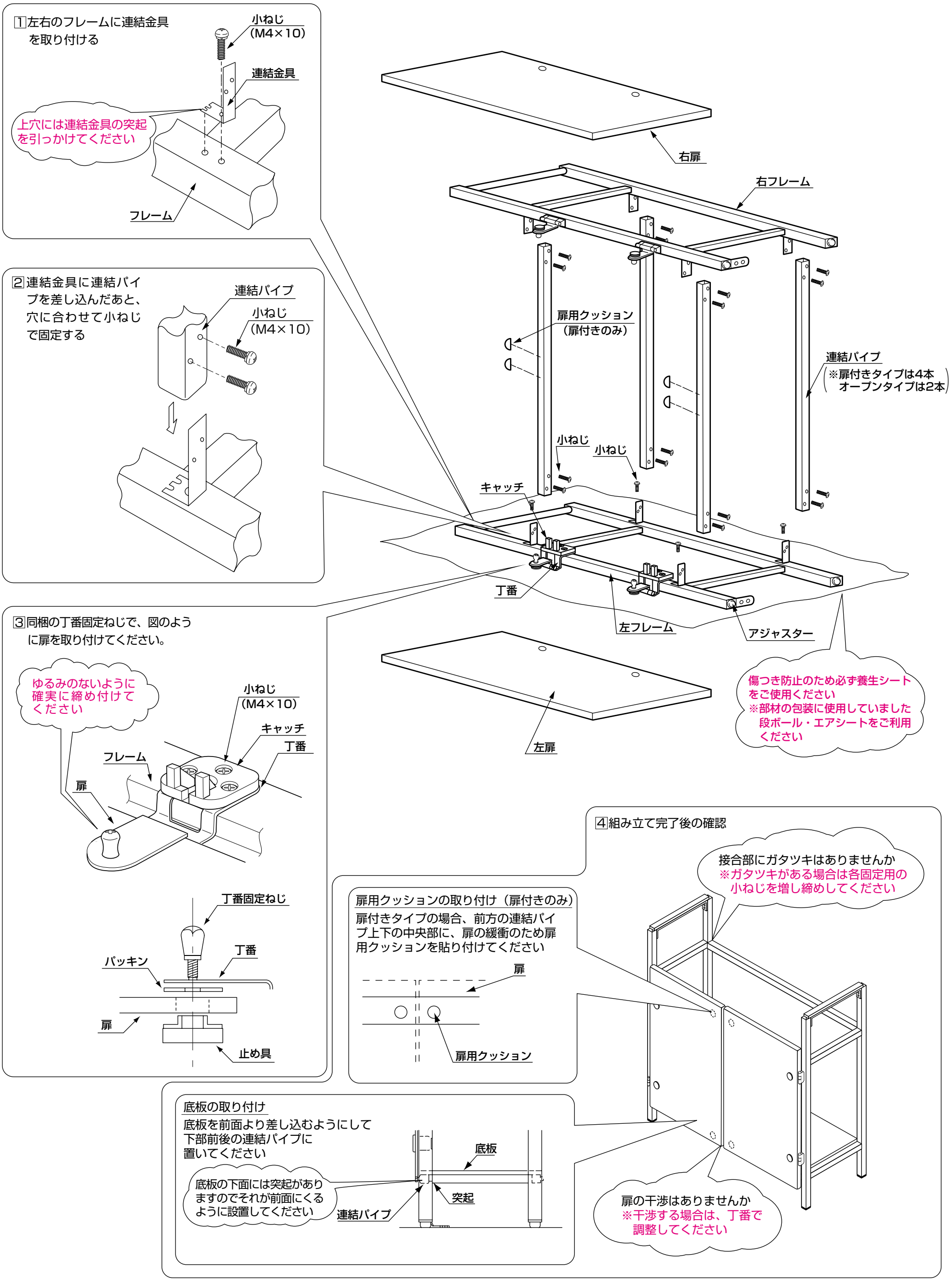
※オープンタイプの場合は扉・丁番・底板およびそれらの固定用部品がありません。



裏面に続く

②キャビネット部の組み立て（パイプフレームタイプ　扉付き）

※オープンタイプの場合は、扉・丁番・下部の連結パイプおよびそれらの固定用部材・連結金具はありません。
注)ねじ固定について強く締め過ぎると､破壊のおそれがありますので電動ドライバーやインパクトドライバなどの使用はやめてください。

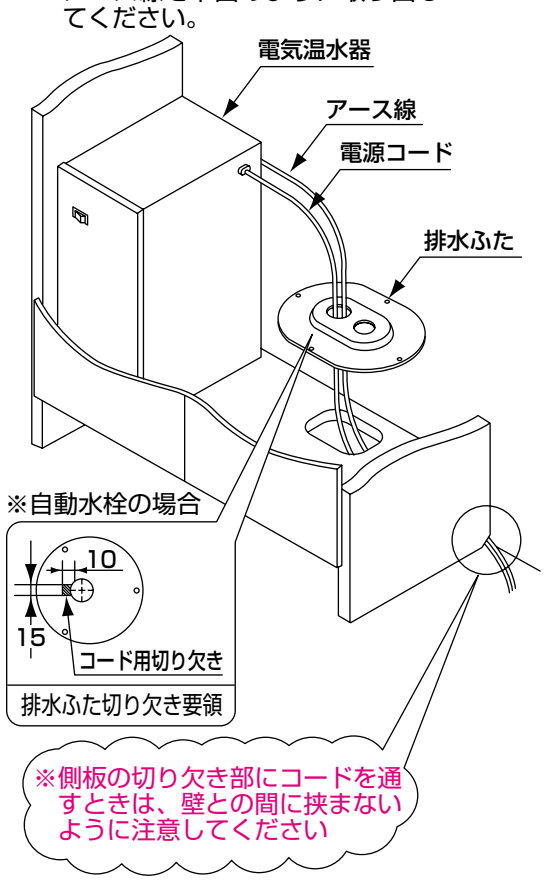


③キャビネットの取り付け（ウッドパネルタイプ）

●オープン・扉付きタイプとも1,2,3は共通です。

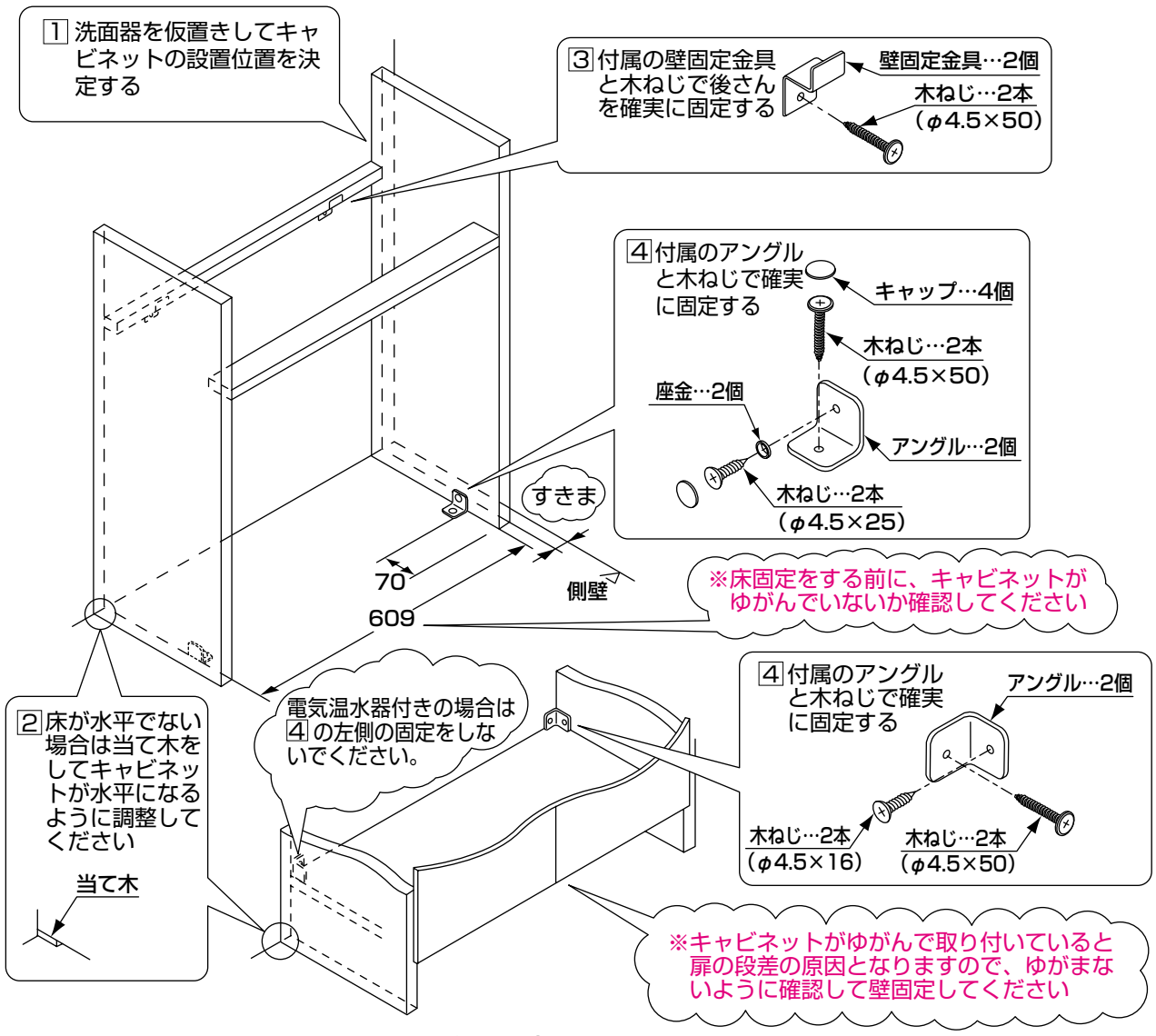
〈電気温水器を取り付ける場合の注意事項〉

●電気コンセントがキャビネット外にある場合は、キャビネットを壁固定する前に、電源コードおよびアース線を下図のように取り出してください。



※電気温水器の取り付けについては、順序の⑫の際に同梱の電気温水器専用の施工説明書を見て取り付けてください。

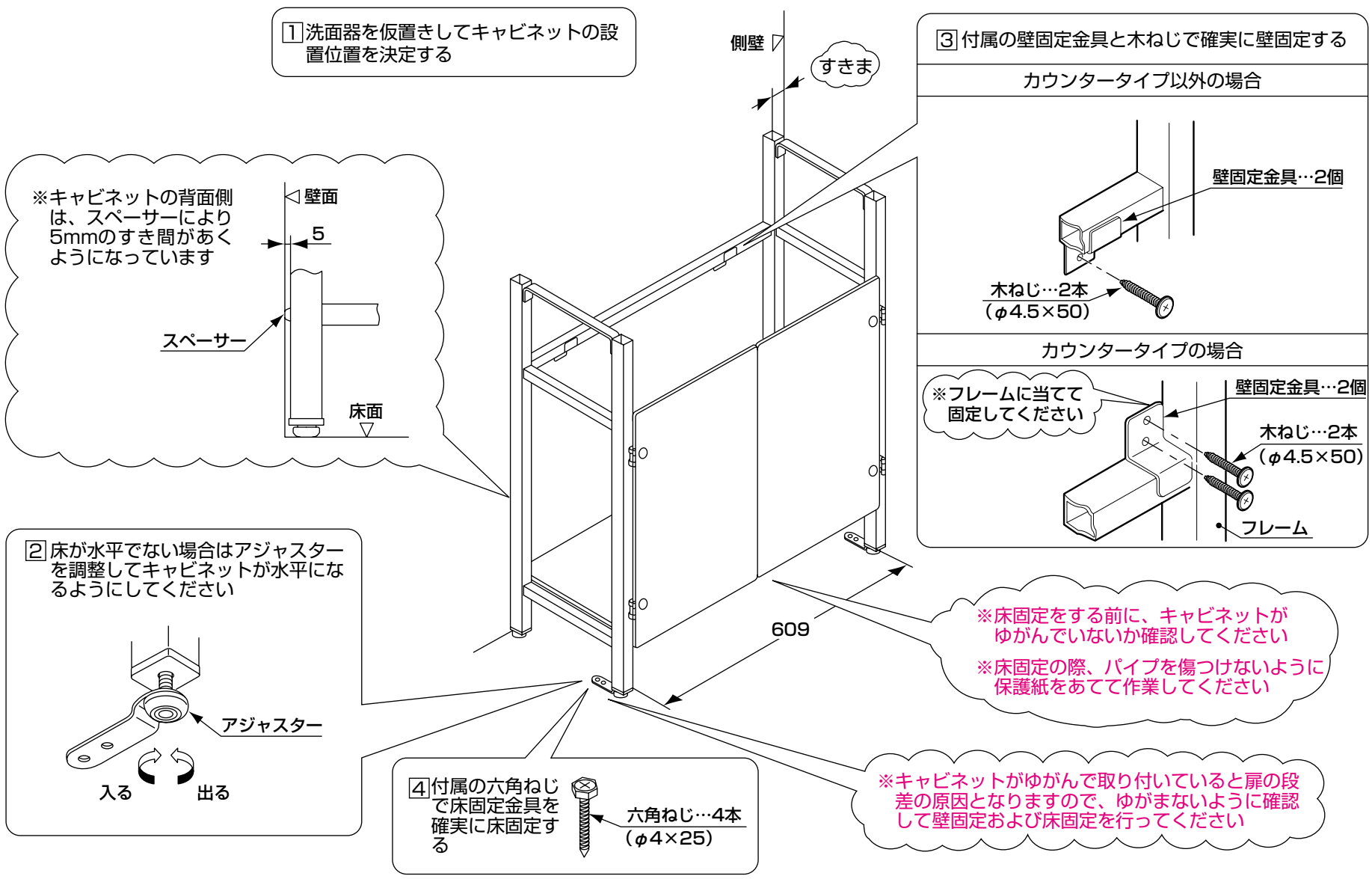
〈オープンタイプの場合〉



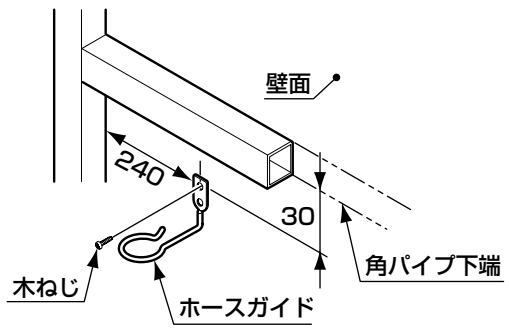
〈扉付きタイプの場合〉

④キャビネットの取り付け（パイプフレームタイプ）

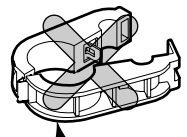
●オープン・扉付きタイプとも取り付け方は共通です。



⑤ホースガイドの取り付け
(ホース付きシングルレバー水栓の場合のみ)

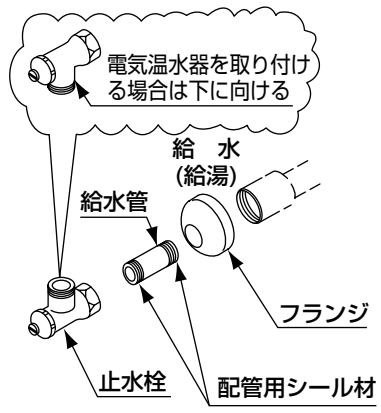


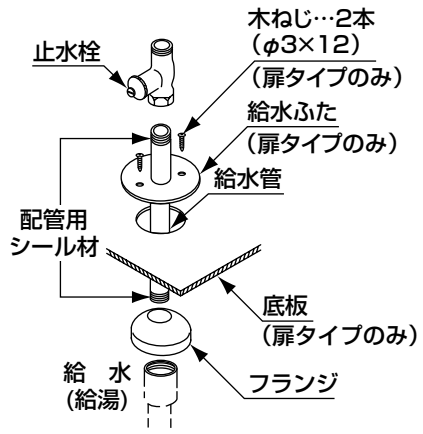
※水栓金具に同梱されているホースガイドは本製品には使用しません。



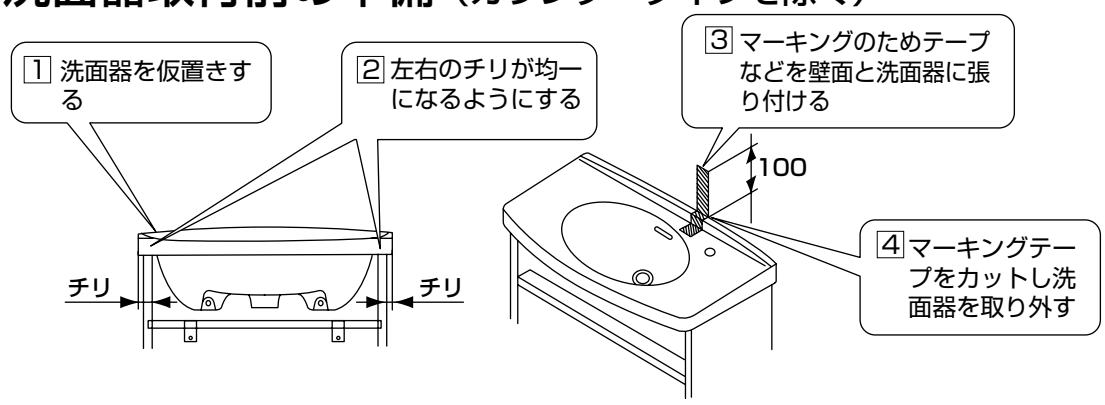
⑥止水栓の取り付け(別売品)

- ナットは工具で確実に締め付けてください。
- 壁給水の場合
- 床給水の場合



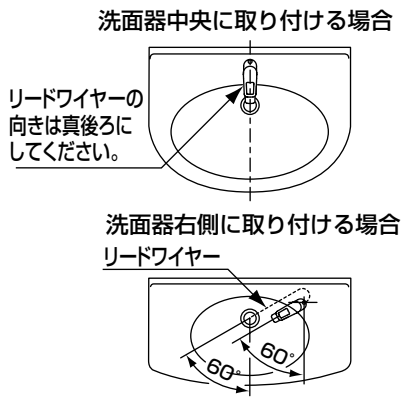


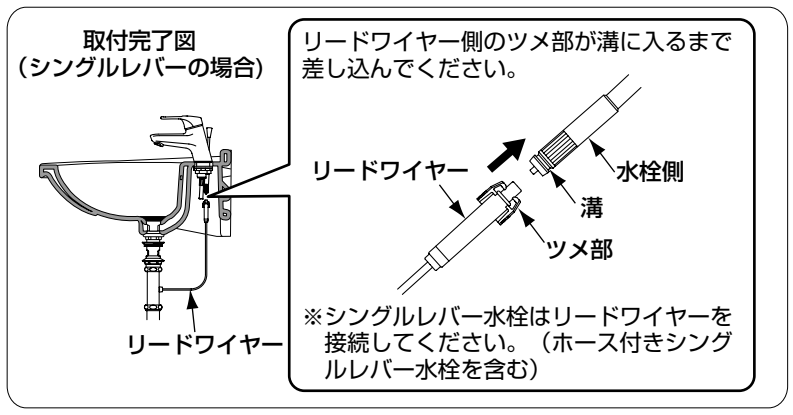
⑦洗面器取付前の準備(カウンタータイプを除く)



⑧水栓金具・排水金具の取り付け(カウンタータイプを除く)

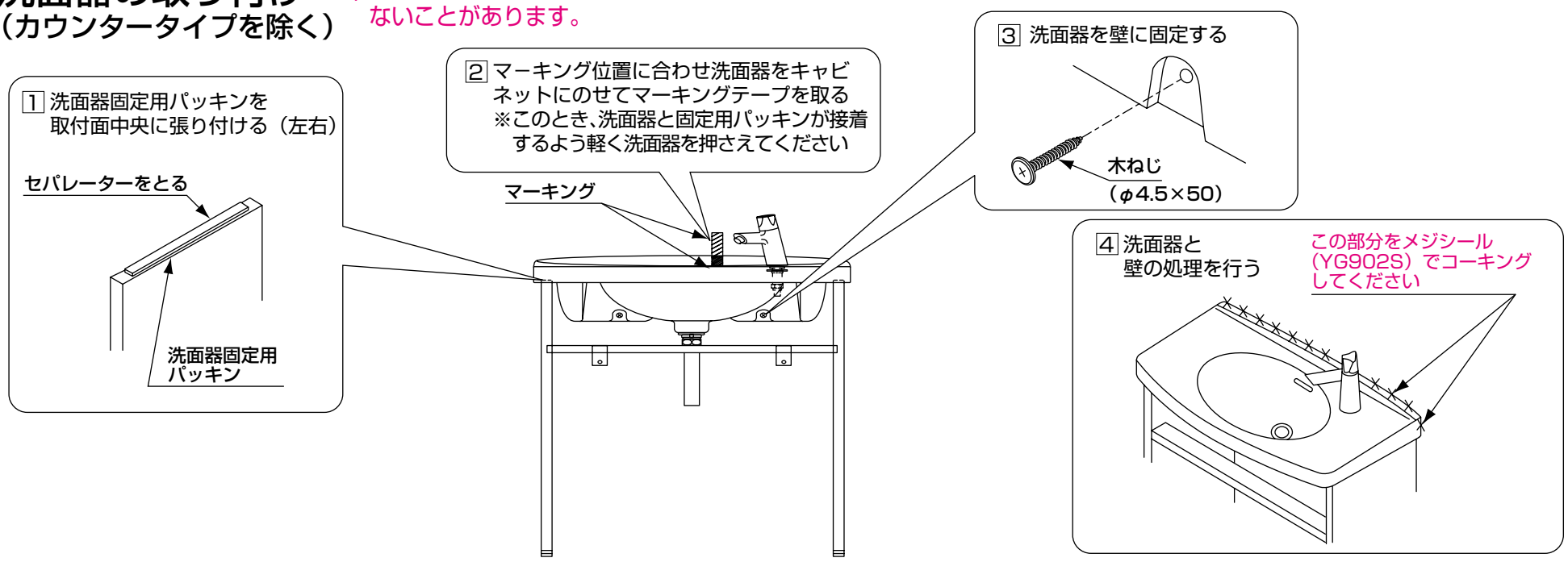
- 洗面器に水栓金具および排水金具を取り付けてください。
- 水栓金具の取り付けについては、水栓金具に同梱されている説明書をご参照ください。
- 排水金具の取り付けについては、排水金具に同梱されている説明書をご参照ください。
- 水栓金具は、吐水口が洗面器中央を向くように取り付けてください。(下図参考ください。)





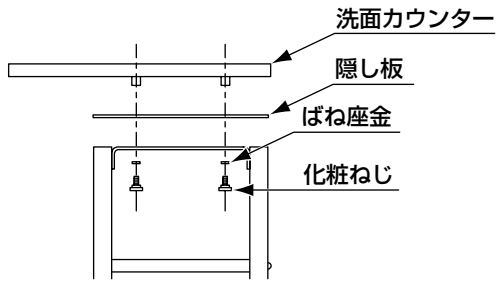
⑨洗面器の取り付け
(カウンタータイプを除く)

注) 洗面器を取り付ける前に必ず排水金具を取り付けてください。洗面器を取り付けたあとは、排水金具の取り付けはできないことがあります。



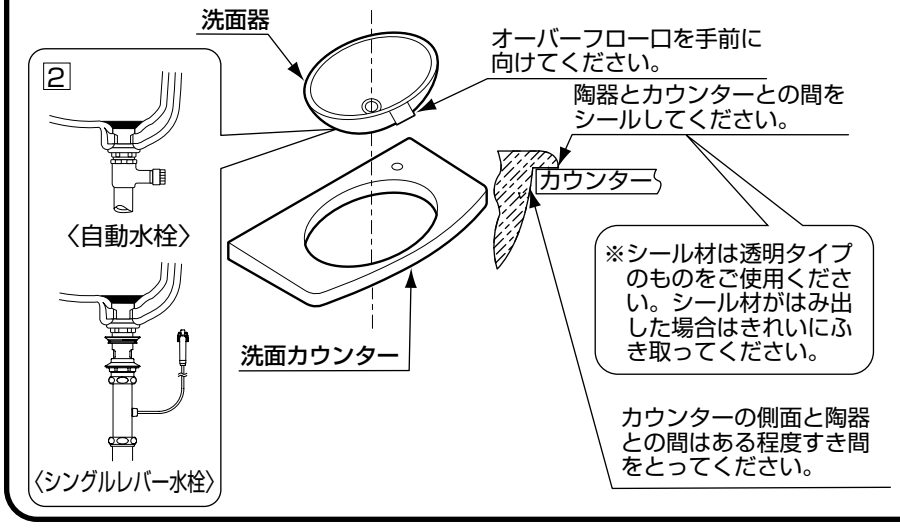
⑩カウンター・洗面器・水栓金具取り付け(カウンタータイプのみ)

1 図のように洗面カウンターを化粧ねじで固定してください。

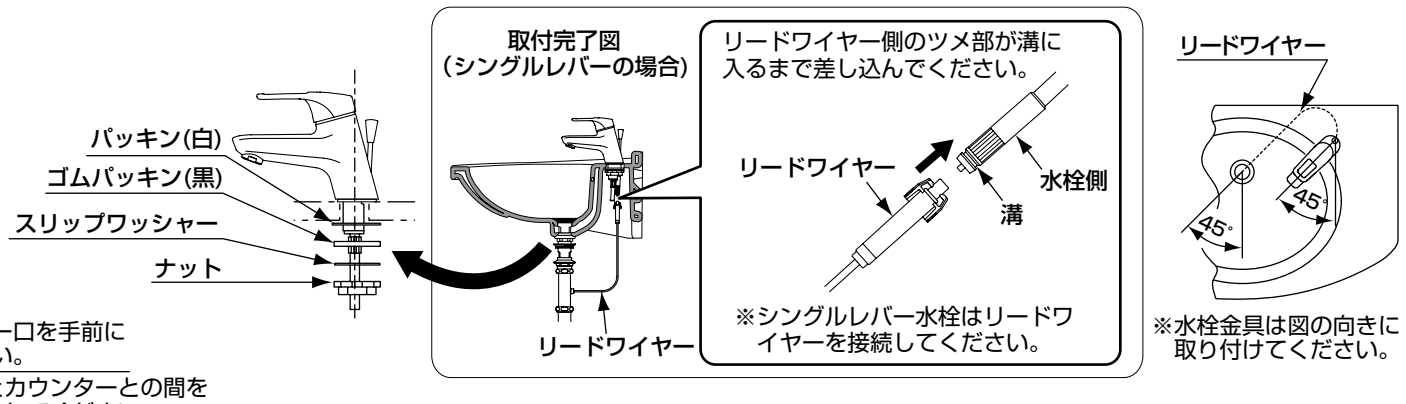


2 洗面器にはあらかじめ排水金具を取り付けておいてください。

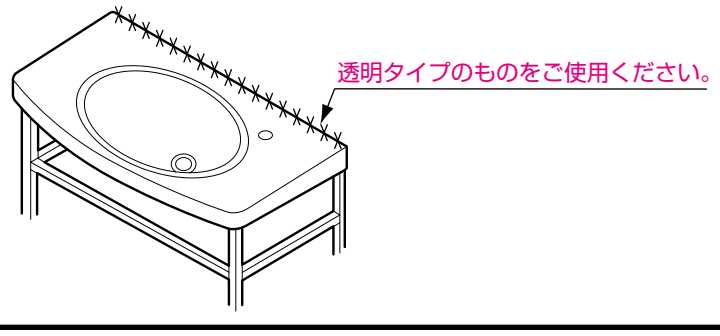
3 洗面カウンターに洗面器を取り付けてください。



4 水栓金具は水栓金具に同梱されている説明書をご参照ください。
尚、洗面カウンターに取り付けの際、シングル水栓の場合は図のようにパッキン(白)をゴムパッキン(黒)の上に入れてください。シングル水栓は下図の要領でリードワイヤーを接続してください。

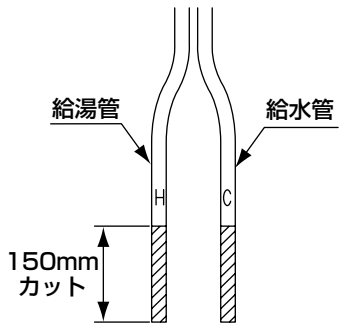


5 洗面カウンターと壁面が接する部分をコーキングしてください。



⑪給水・給湯管の接続

- 給水・給湯管を止水栓に接続してください。接続要領は、水栓金具に同梱されている施工説明書を参照ください。
- 電気温水器付きタイプの場合、右図のように先端より150mmカットしてください。
(自動水栓タイプを除く)

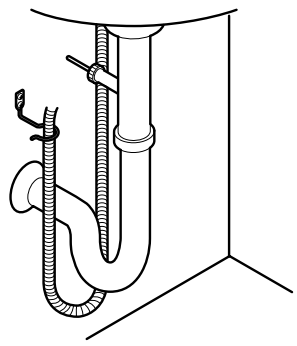


⑫電気温水器の取り付け（電気温水器付きタイプの場合）

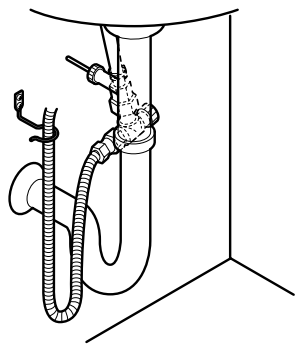
- 電気温水器の取り付けについては、電気温水器に同梱されている施工説明書を参照ください。

⑬シャワーホースの連結
（ホース付きシングルレバー水栓のみ）

- 壁排水の場合はシャワーホースを下図のよう連結してください。
（注）連結後にシャワーホースのねじれがないことを確認してください。



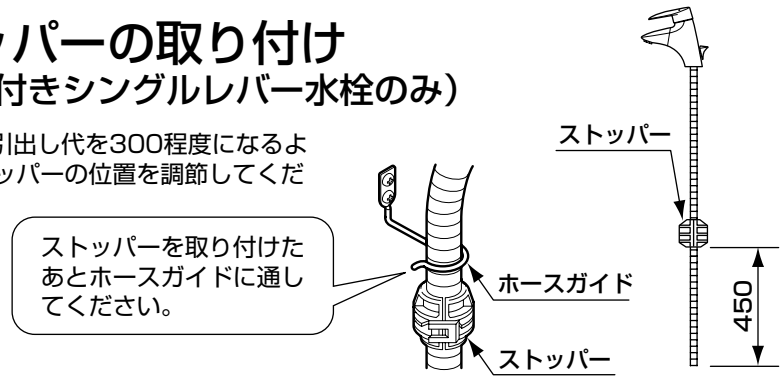
※シャワーホースは排水パイプの下を通して連結してください。
〈一般タイプ〉



※シャワーホースは必ず排水パイプより左側に片寄せして連結してください。
〈寒冷地タイプ〉

⑭ストッパーの取り付け
（ホース付きシングルレバー水栓のみ）

- ホースの引出し代を300程度になるようにストッパーの位置を調節してください。

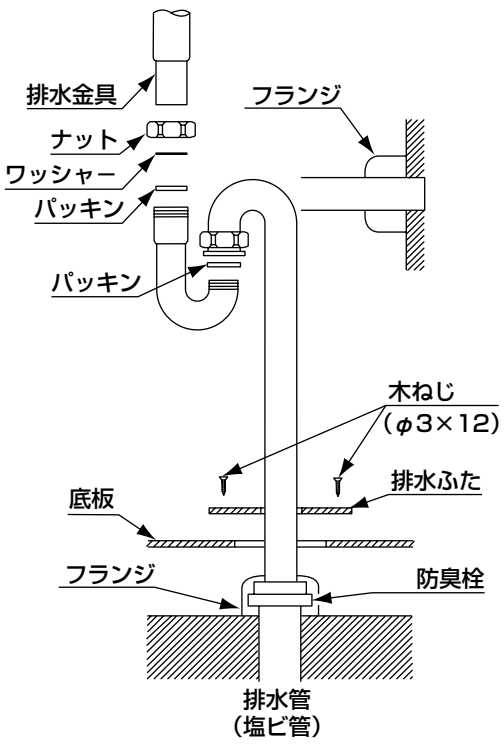


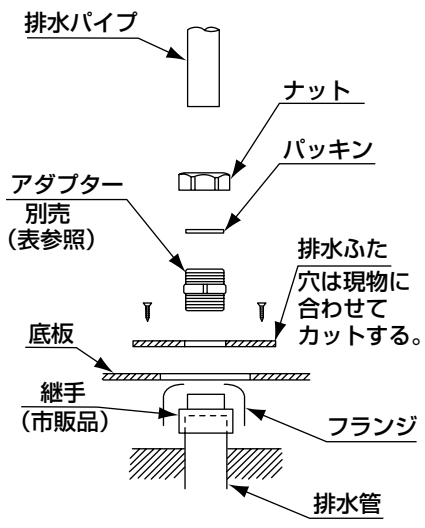
⑮排水トラップの取り付け

- ナットの締め付けは排水金具が回転しないよう工具で確実に締め付けてください。
- Sトラップの場合は、排水管に防臭栓をはめてトラップおよび、フランジを差し込んでください。
- 集合住宅、高層住宅の場合、排水管とトラップを別売のアダプター（下表）で確実に接合してください。
- 電気温水器の取り付けについては、電気温水器に同梱されている施工説明書を参照ください。

集合住宅、高層住宅の場合

アダプターの種類	サイズ
T1122（ガス管用）	R1 ¼
T1122J（塩ビ管用）	30用
T1122T（塩ビ管用）	40用

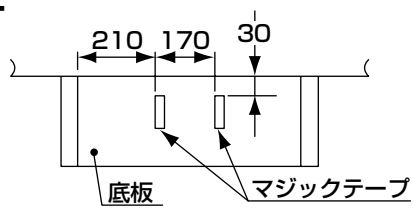




※排水ふたは、扉付きタイプのみ同梱しております

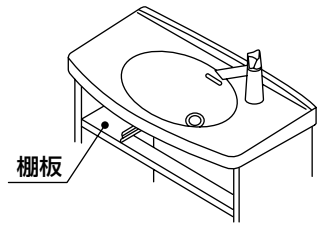
⑯水受けトレイの取り付け
（ホース付きシングルレバー水栓のみ）

※底板の表面をきれいにしてください。
- 水受けトレイの底面にあるマジックテープを右図位置に張り付けてください。



⑰棚板の取り付け
（ウッドパネルタイプのみ）

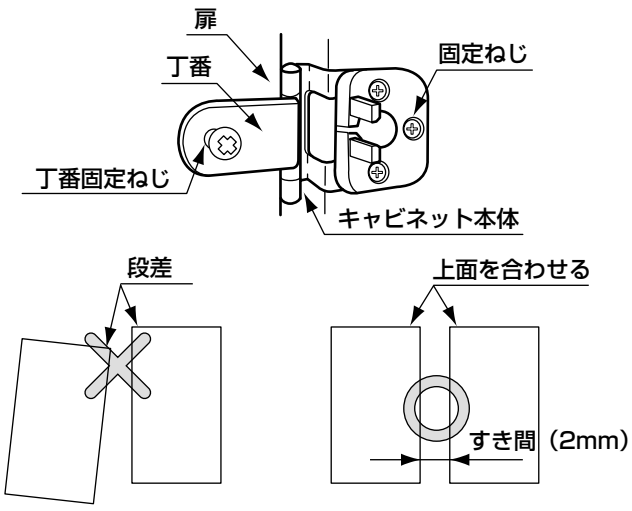
- 棚板を取り付けてください。



⑱丁番の調整

(1) 丁番固定ねじを少しゆるめてください。
※丁番固定ねじをゆるめ過ぎると扉が外れるおそれがありますので注意してください。

(2) 左右扉のすき間が均一（2mm）になるよう左右の傾きを調整してください。
(3) 調整後は、丁番固定ねじを確実に締め付けてください。



注）丁番固定ねじをしっかり締め付けてゆるみのないことを確認してください。
ゆるみのある場合は、扉が外れるおそれがあります。

☆結露防止（電気温水器付きタイプの場合）

- 結露のおそれがある場合は、連結管に市販（16mm用）の断熱材を巻いてください。

☆寒冷地タイプの水抜方法

- 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。
凍結のおそれのある時期に施工された場合は、別途設備された水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。
また、お客様にも水抜き方法をご指導ください。

（水抜き手順）
(1) 水栓金具の水抜き方法については、水栓金具に同梱の施工説明書を参照してください。
(2) 電気温水器の水抜き方法については、電気温水器に同梱の施工説明書を参照してください。

☆取付完了後の確認と清掃

- キャビネットおよび洗面器が、ガタツキのないよう確実に固定されていることを確認してください。
- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- 湯水の出が多い場合は、洗面器からの水跳ねや水あふれのおそれがありますので、止水栓を調整してください。
- 電気温水器タイプまたは、自動水栓タイプの場合、設置後長期間使用されない場合は差込プラグを抜いてください。
- 製品の清掃は、ぬれた布をかたくしぼって汚れをふいてください。

（頑固な汚れには、うすめた中性洗剤の液を湿らせた布でふいてください。
その後ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。）

仕上げにからぶきしてください。
シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

〈カウンタータイプ〉
- 柔らかい布かスポンジに、石けんまたは、食器用中性洗剤をつけてふいてください。その後もう一度水ぶきしてから乾いた布で水分をふき取ってください。
- 油性の汚れなどはエチルアルコール（薬用アルコール・薬局で購入できます）でふいてください。